

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成30年6月14日(2018.6.14)

【公開番号】特開2015-228368(P2015-228368A)

【公開日】平成27年12月17日(2015.12.17)

【年通号数】公開・登録公報2015-079

【出願番号】特願2015-94500(P2015-94500)

【国際特許分類】

H 05 B	33/04	(2006.01)
H 01 L	51/50	(2006.01)
H 05 B	33/14	(2006.01)
H 05 B	33/12	(2006.01)
H 05 B	33/22	(2006.01)

【F I】

H 05 B	33/04	
H 05 B	33/14	A
H 05 B	33/14	Z
H 05 B	33/12	B
H 05 B	33/22	Z

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月26日(2018.4.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

発光素子と、有機樹脂膜と、第1の酸化物膜とを有し、
 前記有機樹脂膜は、前記発光素子に接する領域を有し、
 前記発光素子は、第1の電極と、EL層と、第2の電極とを有し、
前記第1の酸化物膜は、前記第2の電極と接する領域を有し、
前記第1の酸化物膜は、前記有機樹脂膜の側面と接する領域を有し、
前記第1の酸化物膜は、亜鉛またはガリウムを含む、ことを特徴とする表示装置。

【請求項2】

請求項1において、
 絶縁膜を有し、
 前記絶縁膜は、前記第1の酸化物膜と接する領域を有することを特徴とする表示装置。

【請求項3】

発光素子と、有機樹脂膜と、第1の酸化物膜と、第2の酸化物膜とを有し、
 前記有機樹脂膜は、前記発光素子に接する領域を有し、
 前記発光素子は、第1の電極と、EL層と、第2の電極とを有し、
前記第1の酸化物膜は、前記第2の酸化物膜と接する領域を有し、
前記第1の酸化物膜は、前記第2の電極と接する領域を有し、
前記第1の酸化物膜は、前記有機樹脂膜の側面と接する領域を有し、
前記第1の酸化物膜は、亜鉛またはガリウムを含み、
前記第2の酸化物膜は、インジウムを含む、ことを特徴とする表示装置。

【請求項4】

発光素子と、有機樹脂膜と、第1の酸化物膜と、第2の酸化物膜とを有し、
前記有機樹脂膜は、前記発光素子に接する領域を有し、
前記発光素子は、第1の電極と、EL層と、第2の電極とを有し、
前記第1の酸化物膜は、前記第2の酸化物膜と接する領域を有し、
前記第2の酸化物膜は、前記第2の電極と接する領域を有し、
前記第2の酸化物膜は、前記有機樹脂膜の側面と接する領域を有し、
前記第1の酸化物膜は、亜鉛またはガリウムを含み、
前記第2の酸化物膜は、インジウムを含む、ことを特徴とする表示装置。

【請求項5】

請求項1乃至4のいずれか一項において、
前記第1の酸化物膜は、インジウムと、M(MはAl、Ga、Y、Zr、Sn、La、Ce、またはNd)と、亜鉛と、を含み、
前記Mの原子数比は、前記インジウムの原子数比より大きい値を有し、
前記亜鉛の原子数比は、前記インジウムの原子数比より大きい値を有する、ことを特徴とする表示装置。

【請求項6】

請求項1乃至5のいずれか一項において、
トランジスタを有し、
前記トランジスタは、前記発光素子に接続されること、を特徴とする表示装置。

【請求項7】

発光素子と、有機樹脂膜と、第1の酸化物膜とを有し、
前記有機樹脂膜は、前記発光素子に接する領域を有し、
前記発光素子は、第1の電極と、EL層と、第2の電極とを有し、
前記第1の酸化物膜は、前記第2の電極と接する領域を有し、
前記第1の酸化物膜は、前記有機樹脂膜の側面と接する領域を有し、
前記第1の酸化物膜は、亜鉛またはガリウムを含む、ことを特徴とする発光装置。

【請求項8】

請求項7において、
絶縁膜を有し、
前記絶縁膜は、前記第1の酸化物膜と接する領域を有することを特徴とする発光装置。

【請求項9】

発光素子と、有機樹脂膜と、第1の酸化物膜と、第2の酸化物膜とを有し、
前記有機樹脂膜は、前記発光素子に接する領域を有し、
前記発光素子は、第1の電極と、EL層と、第2の電極とを有し、
前記第1の酸化物膜は、前記第2の酸化物膜と接する領域を有し、
前記第1の酸化物膜は、前記第2の電極と接する領域を有し、
前記第1の酸化物膜は、前記有機樹脂膜の側面と接する領域を有し、
前記第1の酸化物膜は、亜鉛またはガリウムを含み、
前記第2の酸化物膜は、インジウムを含む、ことを特徴とする発光装置。

【請求項10】

発光素子と、有機樹脂膜と、第1の酸化物膜と、第2の酸化物膜とを有し、
前記有機樹脂膜は、前記発光素子に接する領域を有し、
前記発光素子は、第1の電極と、EL層と、第2の電極とを有し、
前記第1の酸化物膜は、前記第2の酸化物膜と接する領域を有し、
前記第2の酸化物膜は、前記第2の電極と接する領域を有し、
前記第2の酸化物膜は、前記有機樹脂膜の側面と接する領域を有し、
前記第1の酸化物膜は、亜鉛またはガリウムを含み、
前記第2の酸化物膜は、インジウムを含む、ことを特徴とする発光装置。

【請求項11】

請求項7乃至10のいずれか一項において、

前記第1の酸化物膜は、インジウムと、M(MはAl、Ga、Y、Zr、Sn、La、Ce、またはNd)と、亜鉛と、を含み、

前記Mの原子数比は、前記インジウムの原子数比より大きい値を有し、

前記亜鉛の原子数比は、前記インジウムの原子数比より大きい値を有する、ことを特徴とする発光装置。

【請求項12】

請求項7乃至11のいずれか一項において、

トランジスタを有し、

前記トランジスタは、前記発光素子に接続されること、を特徴とする発光装置。

【請求項13】

請求項1乃至6のいずれか一に記載の表示装置と、

操作スイッチ、筐体、またはマイクと、を有する電子機器。

【請求項14】

請求項7乃至12のいずれか一に記載の発光装置と、筐体と、を有する電子機器。